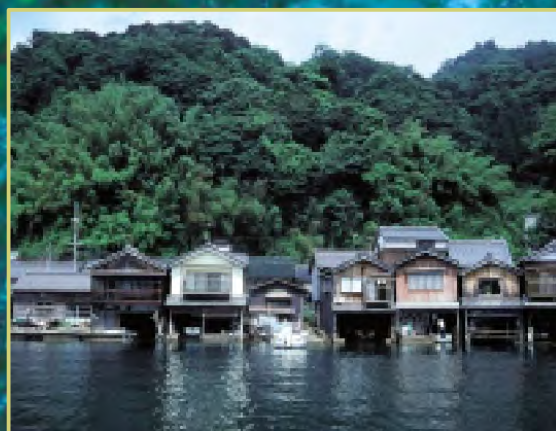




ゆたかな自然、
やすらぎに満ちた

里^う海^みづくり

水産業・漁村の多面的機能

水産庁 防災漁村課 企画班

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL 03-3501-3082

写真撮影：大塚高雄、神崎真

写真提供：小坂丈予東工大名誉教授、広島大学、三重大学藻類学研究室、北海道漁連、邑久町漁協、小国川漁協、木更津漁協、竹島漁協、浜名漁協、日置川漁協、横浜市漁協、青森県、茨城県、岡山県、香川県赤潮研究所、滋賀県、徳島県、長崎県、広島県、福井県、山口県、壱岐市、熊野市、薩摩川内市、新上五島町、(社)海と渚環境美化推進機構、(社)全国漁港漁場協会、(社)日本水難救済会、NPO法人盤州里海の会

水産業や漁村は、
沿岸域の環境を守り、
やすらぎを提供しています。

水産物の安定供給（本来の機能）

新鮮で安全な食料を安定的に供給することが、
水産業や漁村がもつ本来の役割です。

水産業 漁村

水産業・漁村の多面的機能

水産業や漁村は、本来の役割以外にも多くの役
割を果たし、みなさんの生活に貢献しています。

1. 豊かな自然環境の形成

藻場・干潟の保全
沿岸域の環境美化・保全
河川・湖沼の生態系保全
漁業活動による環境保全

2. 海の安全・安心の提供

海難救助・災害救援活動・海域環境監視・国境監視

3. やすらぎ空間の提供

都市の人々との交流
伝統文化の創造と継承

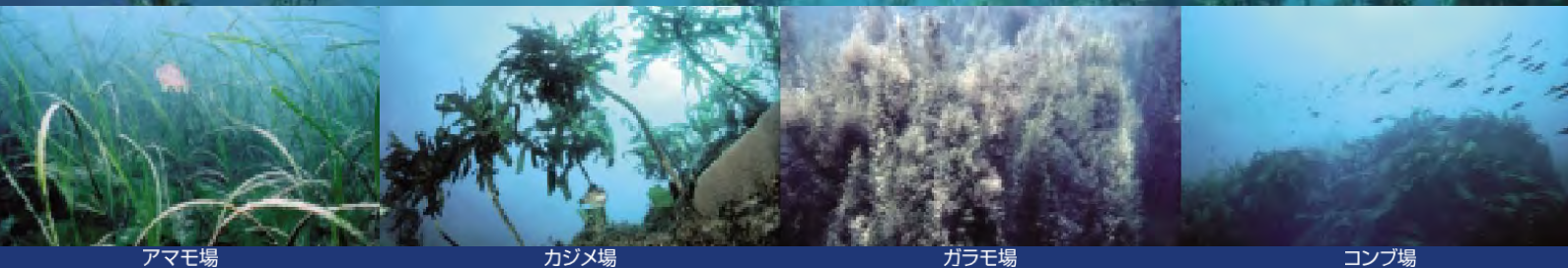
豊かな
自然環境
の形成

藻場・干潟の保全

藻場・干潟は、多種多様な生き物を育み、沿岸域の環境を守っています。

藻場

藻場は”海の森”とも呼ばれ、アマモ場、ガラモ場、カジメ場、コンブ場などがあります。日本の沿岸域に広く分布しており、魚類をはじめ多くの生き物の成育・産卵の場となっています。



アマモ場

カジメ場

ガラモ場

コンブ場

干潟

干潟は、魚類、貝類、甲殻類、希少生物など多種多様な生き物の成育・産卵の場となっています。また、人々にとって親水の間であるとともに多くの渡り鳥が餌と休息の場を求めて飛来します。



マテガイ

ムツゴロウ

ダイシャクシギ

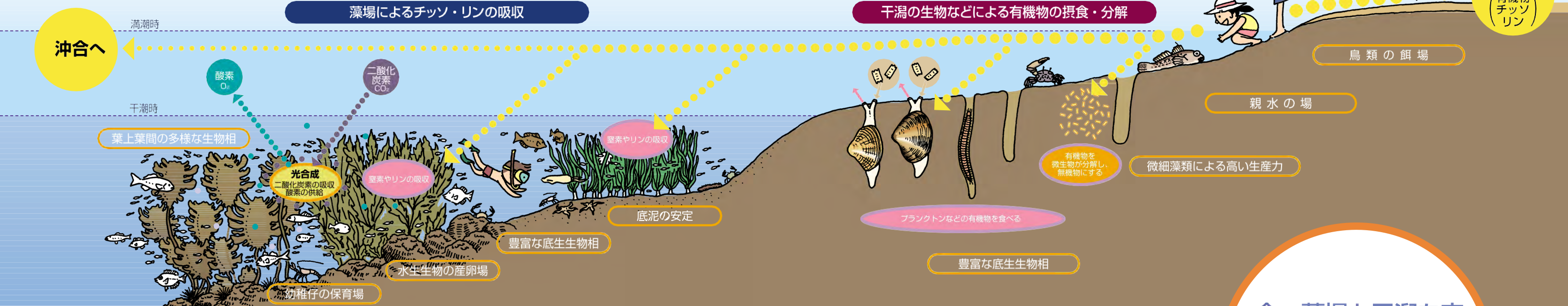
シオマネキ

アサリ

私たちの生活排水には、沿岸域の汚染源となる有機物やチッソ、リンが含まれています。藻場、干潟は、こうした汚染源を吸収、分解することで、水質や底質を浄化し、沿岸域の環境を守っています。藻場や干潟がなくなると、植物プランクトンが増加し、海水は汚れ、ヘドロが堆積します。

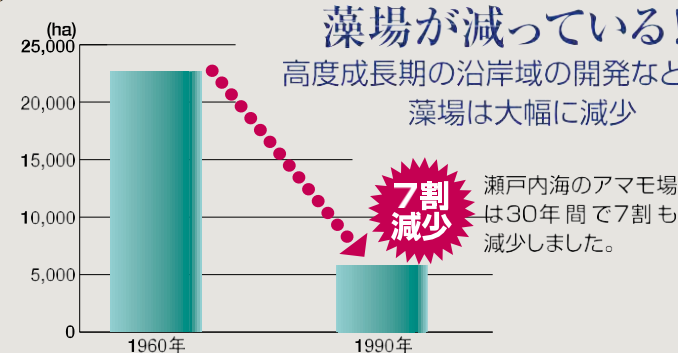
藻場によるチッソ・リンの吸収

干潟の生物などによる有機物の摂食・分解



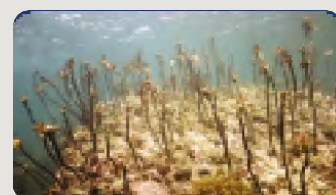
藻場が減っている!?

高度成長期の沿岸域の開発などにより
藻場は大幅に減少



7割減少

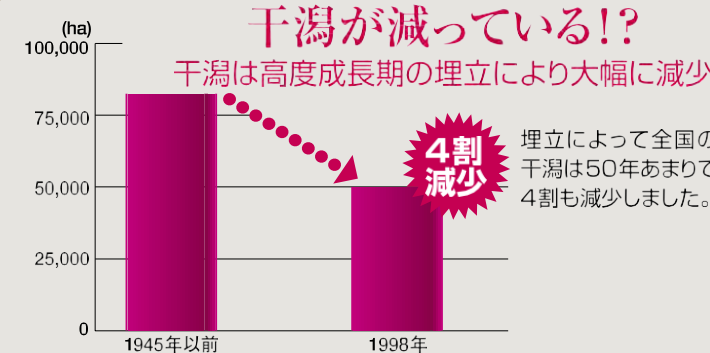
瀬戸内海のアマモ場
は30年間で7割も
減少しました。



海の“砂漠化”が進んだ藻場
葉の部分が食べ尽くされたカジメ場。海藻を食べる魚やウニが増えすぎること
で、生態系のバランスが崩れ、藻場の
消失をまねく「磯焼け」が起こります。

干潟が減っている!?

干潟は高度成長期の埋立により大幅に減少



4割減少

埋立によって全国の
干潟は50年あまりで
4割も減少しました。

今、藻場と干潟を守るために、漁業者が
さまざまな取組みを展開しています。